

# しっかり焼けるまで待つ! 調理器具は使い分けて!



平成 30 年 8 月 8 日  
富山県感染症情報センター  
(0766-56-5431 直通)  
(0766-56-8142 細菌部)  
(0766-56-8143 ウイルス部)

## 感染症発生動向速報

(平成 30 年第 31 週分・7 月 30 日～8 月 5 日)

### 《 インフォメーション 》

#### ●腸管出血性大腸菌感染症

県内の腸管出血性大腸菌感染症の報告数は、8 月 1 日現在で 19 人(前年同時期 14 人)となっています(表参照)。

腸管出血性大腸菌は、主に牛の腸にいる菌です。牛の糞などを介して牛肉やその他の食品・井戸水等を汚染します。菌が付いた食品を食べると 2 日から 7 日くらいで、発熱や激しい腹痛、水様性の下痢、血便、吐き気、嘔吐などの症状が現れます。特に抵抗力の弱い子供や妊婦、高齢者は、重い症状になりやすく、注意が必要です。

腸管出血性大腸菌等による食中毒を防ぐためには、生肉や加熱が不十分な肉の料理は食べないことが重要です。

**生肉やレバーなどの内臓肉は内部まで十分に加熱してから食べましょう。** 次の事項に気を付けて、食中毒の発生を防ぎましょう。

腸管出血性大腸菌感染症報告状況(富山県)  
平成30年8月1日現在

O血清群	平成30年	平成29年 同時期	平成29年 総数
O157	5	7	15
O26	9	6	11
O111	2	0	0
O128	2	0	0
O118	1	0	0
O91	0	1	3
O146	0	0	1
型不明	0	0	2
合計	19	14	32

- ①調理や食事の前、トイレの後は必ず手を洗う
- ②生肉やレバーなどの内臓肉は生・加熱不十分な状態で食べない
- ③まな板などの調理器具は、「加熱食材用」と「生食用」で使い分ける
- ④箸は「食べる専用」と「肉焼き専用」で使い分ける
- ⑤食材は調理までの間、低温（10℃以下）で保存する

#### 食中毒予防の3原則

つけない  
増やさない  
やっつける



### 《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 16件 (①②ともに 20 歳代、男性 ③20 歳代、女性 ④80 歳代、女性  
①～④すべて第 30 週診断分  
⑤～⑩すべて 20 歳代、男性 ⑪20 歳代、女性  
⑫～⑭すべて 30 歳代、男性 ⑮70 歳代、男性 ⑯90 歳代、男性)

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 件 (70 歳代、女性、O26、VT1)

四類感染症 レジオネラ症 1 件 (50 歳代、男性、肺炎型)

五類感染症 急性脳炎 1 件 (第 30 週診断分：10 歳未満、女性)

### 《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患

順位	疾病名	定点あたりの数		
		今週	先週	増減
1 位	感染性胃腸炎	4.72	5.62	↓
2 位	ヘルパンギーナ	1.03	0.83	↑
3 位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.76	1.10	↓
4 位	突発性発しん	0.69	0.48	↑
5 位	咽頭結膜熱	0.48	0.52	↓
6 位	流行性角結膜炎	0.29	0.43	↓

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます  
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第31週 平成30年7月30日～平成30年8月5日）

分類	疾患	今週報告分（第31週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核			1		11	12	9	10	32	11	68	130
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症		1				1	3	3	2	1	10	19
四類感染症	E型肝炎							1					1
	A型肝炎											3	3
	つつが虫病											1	1
	レジオネラ症					1	1	1	1	4	2	20	28
五類感染症	アメーバ赤痢										1		1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									3		6	9
	急性弛緩性麻痺										1		1
	急性脳炎							1			1	1	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							4		5	2	3	14
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		1		1	4
	侵襲性肺炎球菌感染症							2	2	6	4	13	27
	水痘（入院例）							1		1		2	4
	梅毒									1		6	7
	播種性クリプトコックス症											3	3
	百日咳											4	4
	風しん										1		1
定点疾病 <small>（下段は定点当たりの患者数を示す）</small>	インフルエンザ							2,232	1,824	3,485	2,442	5,346	15,329
	RSウイルス感染症			1		5	6	36	20	59	24	250	389
	咽頭結膜熱	5	1	5		3	14	176	62	235	25	268	766
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.25	0.33	0.63		0.30	0.48						
	感染性胃腸炎	5	1	2	1	13	22	132	92	463	207	612	1,506
	水痘	1.25	0.33	0.25	0.25	1.30	0.76						
	手足口病	28	12	33	4	60	137	854	607	955	194	2,247	4,857
	伝染性紅斑	7.00	4.00	4.13	1.00	6.00	4.72						
	突発性発しん	2				3	5	15	5	88	49	87	244
	ヘルパンギーナ	0.50				0.30	0.17						
	流行性耳下腺炎	1	1	1		3	6	3	11	31	13	108	166
	急性出血性結膜炎	0.25	0.33	0.13		0.30	0.21						
	細菌性髄膜炎			2	1		3	3	1	84	43	31	162
	マイコプラズマ肺炎			0.25	0.25		0.10						
	クラミジア肺炎	1	1	7	1	10	20	43	34	140	38	108	363
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.25	0.33	0.88	0.25	1.00	0.69						
	インフルエンザによる入院患者（*）	3	2	13	2	10	30	13	24	27	5	41	110
		0.75	0.67	1.63	0.50	1.00	1.03						
			1			3	4	3	6	15	3	30	57
			0.33			0.30	0.14						
										14		14	
			1		1	2	2	12	6	3	5	28	
			0.50		0.50	0.29							
											5	5	
							2	3	5	5	7	22	
										1	2	3	
							3		4	2	7	16	
							51	55	39	150	96	391	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

\*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成29年第36週（9月4日）～の集計です。